

## 地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	福島県郡山市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	国内外に発信できる、自慢の地域資源があるまちプロジェクト	【計画の改善時期】 平成31年度	
4 実施計画期間	平成 31 年度 ～ 平成 35 年度 5年以内としてください。		
5 実施計画の概要			
<p>「あすまちこおりやま（郡山市まちづくり基本指針）（2018年策定）」や「第2期郡山市教育振興基本計画（2015年策定）」を踏まえ、地域の文化遺産を保存・継承し、自分たちのまちに誇りと愛着を持てるよう、下記の取り組みを実施する。</p> <p>※「あすまちこおりやま」（<a href="http://www.city.koriyama.fukushima.jp/061000/20180313.html">http://www.city.koriyama.fukushima.jp/061000/20180313.html</a>）          ※「第2期郡山市教育振興基本計画」（<a href="http://www.city.koriyama.fukushima.jp/511000/20140515.html">http://www.city.koriyama.fukushima.jp/511000/20140515.html</a>）</p>			
6 実施体制			
<p>郡山市が本実施計画に係る全体の企画調整や、補助事業に関する指導等を行う。          担当課：郡山市文化スポーツ部文化振興課          役割：文化財の取り扱い等に関する指導・調整等          補助事業実施団体：郡山文化遺産総合活性化実行委員会（実行委員長 菊池信太郎）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 56,591 千円	平成31年度申請額： 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>事業を通して市民に市内の文化遺産の周知が図られることにより、郷土の歴史に触れ、魅力の再発見や理解の促進、文化遺産継承への意識の高揚が期待される。          また、民俗芸能等の披露の機会を設けることで、文化遺産の保存と次世代へ継承する人材を育成するとともに、企業等との連携により継承活動を推進していく土壌形成に貢献できる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	市内に伝わる民俗芸能を披露する「民俗芸能大会」を隔年（H32、H34）で実施（自主財源事業）		
事業概要：			
事業概要：			
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
現時点での見込なし			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	郡山市文化スポーツ部文化振興課（文化財保護係）		

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分1:	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標1:	開成館の入場者数			関連事業:	①	
目標値1:	【現状値】 平成 31 年度 9,500 人 ⇒ 【目標値】 平成 35 年度 10,450 人					
設定根拠1:	平成29年度の入場者数を基準とし、毎年2%の増を設定					
進捗状況1:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分2:	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分2:	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標2:	市民満足度調査「歴史・文化芸術」項目満足度ランキング			関連事業:	②③	
目標値2:	【現状値】 平成 31 年度 10 位 ⇒ 【目標値】 平成 35 年度 7 位					
設定根拠2:	2年で順位をひとつ上げる設定					
進捗状況2:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	
位	位	位	位	位	位	
目標区分3:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分3:	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標3:	民俗芸能保存伝承活動奨励金交付団体数			関連事業:	②③	
目標値3:	【現状値】 平成 31 年度 14 団体 ⇒ 【目標値】 平成 35 年度 14 団体					
設定根拠3:	指定文化財を対象としていることから、現状維持を設定					
進捗状況3:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	
団体	団体	団体	団体	団体	団体	

